

仕様書

1. 業務名

生成 AI 利用サービス提供業務

2. 目的等

最新の生成 AI 技術に対応した、高精度かつ安全に利用できる生成 AI 利用サービスを全庁に導入することで、更なる業務効率化と県民サービスの向上を図る。

3. サービス利用期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

4. サービス提供の基本要件

①サービス形態

- ・ クラウドサービス (SaaS 型) であること。
- ・ LGWAN-ASP サービスであること。
- ・ Microsoft 社の Azure Open AI サービスや Google 社の Vertex AI など主要な生成 AI 基盤を利用すること。
- ・ 総合行政ネットワーク (LGWAN) に接続する端末からブラウザを用いて生成 AI サービスを利用できること。

②大規模言語モデルの水準

- ・ 一般的に利用可能な最新の AI モデルが利用でき、サービス提供開始時点で GPT-5 mini、Gemini 2.5 Flash、Claude Sonnet 4.5 またはそれらと同等かそれ以上に新しい生成 AI モデルが利用できること。
- ・ サービス利用期間中は、最新の生成 AI の動向を踏まえて、上記モデルの上位水準モデルへのアップデートを含めて、利用可能な AI モデルを拡充すること。
- ・ マルチモーダル AI に対応し、画像読み取り機能、画像生成機能及び音声取り込み機能が利用できること。
- ・ 画像生成には Nano Banana Pro 又は GPT-image に対応できること。
- ・ 庁内で保有するマニュアル等のデータ (以下「独自データ」という。) を蓄積でき、それを検索・参照した上で生成 AI が回答や文章を生成する検索拡張生成機能 (以下「RAG」という。) を有すること。
- ・ 独自データファイルはベクトル化等をして、サービス内に保管されること。
- ・ RAG は参照したデータのファイル名を含む回答文を生成できること。

③認証の方法

- ・ ID、パスワードやメールアドレスにより利用可能な職員を認証できること。

④独自データとして登録が可能なファイル形式

- ・ テキスト、Word、Excel、CSV、PDF、PowerPoint

⑤独自データの管理

- ・ 独自データの保存容量は 100GB 以上とし、別途追加が可能であること。
- ・ 独自データは複数のフォルダで設定でき、フォルダの数は 200 個以上とすること。

- ・ 管理者により、随時独自データの追加、削除が可能であること。また、特定の一般ユーザにも権限を付与することが可能であること。

⑥入出力データのログ管理

- ・ 管理者権限により入出力のデータ及び文字数を CSV 等にて出力が可能なこと。
- ・ 管理者画面に利用状況が分かる情報が掲載されていること。
- ・ ログデータは、契約期間中は保管すること。

⑦権限の管理

- ・ 利用者と管理者を分けて権限設定できること。
- ・ 部門ごとにグループ分けができること。
- ・ 管理者自らユーザの追加・削除ができること。
- ・ 設定したグループごとに利用機能を制限できること。
- ・ 管理者は利用者を一括登録・削除・変更等ができること。

⑧テンプレート

- ・ 利用目的に応じたテンプレートが用意されており、随時追加できること。

⑨利用者マニュアル

- ・ 操作マニュアル（管理者用及び利用者用）を提供すること。

⑩料金体系

- ・ 利用無制限ではない AI モデルの利用にあたっては、別途従量課金の追加が可能であること。

⑪セキュリティ

- ・ 入出力情報及び独自データが生成 AI の学習に利用されないこと。
- ・ 入出力情報及び独自データが LLM サーバに保存されないこと。
- ・ SSL 通信等による安全な接続を行うこと。
- ・ 国内リージョンの AI モデルを使用する場合、データベースの処理及び保持は国内で完結すること。
- ・ 以下の a から c のいずれかの要件を満たす事業者が提供する生成 AI 利用サービスであること。
 - 提供する生成 AI 利用サービスが、政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）のクラウドサービスリストに登録されていること。
 - 提供する生成 AI 利用サービスを対象に、情報セキュリティマネジメントの国際規格である ISO/IEC27017 の認証を取得していること。
 - 提供する生成 AI 利用サービスを対象に、日本セキュリティ監査協会のクラウド情報セキュリティ監査や外部サービス提供者等のセキュリティに係る内部統制の保証報告書である SOC 報告書を入手していること。
- ・ 受託者によるサーバの利用データへのアクセスが制限されていること。
- ・ 全ての利用者による AI とのやりとりの内容を次の項目を含む利用ログとして記録し、契約期間及び解約後一定期間の期間保管できること。また管理者は、以下の情報を確認できること。
 - 利用者ユーザーアカウント情報
 - 利用日時
 - 生成 AI への情報の入力及び AI からの生成結果の出力の内容

エ 入力文字数、出力文字数

なお、受託者はログの情報は、限られたアクセス権のもと保管・保護すること。
また、サービスの不具合など緊急を要する場合を除き、委託者の許可なく同データにアクセスしてはならない。なお、契約終了から一定期間の経過後、同データを完全に削除すること。

⑫ 伴走サポート

- ・ 利用開始後 3 か月間は月 1 回以上の利用状況の報告会（WEB 会議も可）を実施し、テンプレートの利用回数や、月間利用人数、LLM ごとの利用メッセージ数等のレポートや、利用促進のための提案を行うこと。また、4 か月目以降も必要に応じて利用状況の報告会を実施すること。
- ・ 基礎講習をオンラインにて 1 回以上実施し、1 回は 4 月に実施すること。講習会の参加人数制限無しとし、動画素材は提供すること。
- ・ サービスの利用方法やよくある質問をまとめた FAQ サイトを提供すること。

5. 利用環境

① 利用職員数

- ・ 同時利用人数は 100 人以上とし、ユーザアカウント数は上限がないこと。

② 想定使用量

- ・ 一般的に利用可能な最新の LLM（GPT-5.2、Gemini 3.0 Pro など）を含む高性能な AI モデルは、別途従量課金なしで、1 か月あたり 1,000 万文字以上の利用ができること。
- ・ GPT-5 mini、Gemini 2.5 Flash、Claude Sonnet 4.5 またはそれらと同等かそれ以上に新しい生成 AI モデルのいずれかの高速な AI モデルは、文字数の上限なく利用できること。
- ・ 利用可能な AI モデルはユーザ側で切り替えが可能であること。
- ・ 管理者は管理画面から利用可能な AI モデルの制限設定ができること。

③ 自治体ネットワーク

- ・ α 〃 モデルの三層分離モデルを採用しており、当モデルでも問題なく利用できること。

④ パソコン及びブラウジングソフト

- ・ OS：Microsoft Windows 11（64 ビット）に対応すること。
- ・ ブラウザ：Microsoft Edge の[124.0.2478.105（64 ビット）]以上に対応すること。ただし、サービス提供開始時点でサポートされているバージョンについては動作を保証すること。

6. 実施体制

① 運用に関する問い合わせ

- ・ 操作方法等、サービスに関する管理者からの問合せに対し、受付および回答を行うこと。

② 障害時等の対応

- ・ 障害など不測の事態が発生した際は、速やかに発注者に報告すること。

- ・ 緊急時等は、発注者が電子メール又は電話により問合せ可能な窓口を設置すること。

③サポート対応時間等

- ・ 上記①②における対応時間について、平日 8:30 から 17:15 までの間で6時間以上（土日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）を除く）とすること。

7. その他

- ・ 本業務の遂行上、知り得た一切の情報は、本業務でのみ使用し、発注者の同意なく第三者に漏えいまたは開示してはならない。
- ・ 仕様書に定めのない事項又はサービスの利用に当たり疑義が生じた場合は、発注者と協議の上、決定するものとする。